

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第4回益田市総合振興計画審議会
開催日時	令和2年11月25日（水）13：30～16：30
開催場所	市立市民学習センター 研修室203
出席者	<p>[審議会委員]  藤原真砂会長、藤井幸子副会長、森本恭史委員、松本満委員、桂木正則委員、村岡詩織委員、吉村里恵委員、石川洋紀委員、草野祐一委員、豊田芳明委員、廣兼重孝委員、中村克也委員、舟橋道恵委員、大賀肇委員、中野純委員</p> <p>[事務局]  益田市 志田原政策企画課長、山本総合戦略室長、岡藤主任主事  コンサル ランドブレイン株式会社</p> <p>【欠席者】  未成弘明委員</p>
議題等	<p>(1) 第6次益田市総合振興計画案について  ①第1章 基本構想  ②第2章 前期基本計画  ③第3章 第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略アクションプラン（別冊）</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて  (3) その他</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1名
問合せ先	政策企画局政策企画課 電話 0856-31-0121

審議経過

1 開会
2 議題
<p>(1) 第6次益田市総合振興計画案について【資料1】、【計画案差し替え資料】、【参考資料1】、【参考資料2】</p> <p>①第1章 基本構想  ②第2章 前期基本計画  ③第3章 第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略</p>
<p>事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1は、第1章の基本構想から第3章の総合戦略までを合冊したもの。基本構想部分に当たるP4～P10については、文章を修正したので、本日差し替えの資料をお配りした。修正後の構成としては、 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 総合振興計画の策定にあたって</li> <li>2 益田市の概況</li> <li>3 益田市を取り巻く現状と課題</li> <li>4 益田市のめざす姿</li> <li>5 将来像を実現するための基本目標</li> </ol> となる。</li> <li>・前回（第3回）審議会の後、益田市版SDGsの考え方を変更したため、委員の皆様に変更案の意見聴取をさせていただいた。そこでいただいた意見と対応状況をまとめたものが【参考資料1】となる。</li> <li>・第2章 基本計画についても、これまでいただいた意見を担当課とも共有し、できる限りの修正を行った。</li> </ul>

<p>・第3章 総合戦略は、総合戦略審議会でもいただいた意見も踏まえて作成している。総合戦略に掲載している施策は、総合振興計画の基本計画における具体施策を抜粋したものだが、どの事業が総合戦略に当たる事業なのかを【参考資料2】に示している。</p>	
委員	<p>P12のSDGsのアイコンだが、何回か改訂されている。最新版があるはずなので、確認してほしい。 また、オリジナルのものを模して益田市版を作成していいものなのか。</p>
事務局	<p>オリジナルのものを模して使用することは問題ないと思う。国連SDGsのホームページやアイコンの仕様に関するガイドライン等を確認したが、特に示されていない。ただし、国連のSDGsとは異なるものと分かるよう、角を丸くしたり、番号に丸を付したりするなど、益田市独自のものであることが分かるよう工夫している。</p>
委員	<p>益田市版SDGsは、今後市で作成される計画に使われたり、学校などで広く使われたりする可能性もあると思う。調べたところ、金沢でも金沢版のロゴが新たに作成されており、許可制による積極的な利用が促進されている。今後、益田市においてもこういった制度を整えることが必要になるのではないかと。</p>
事務局	<p>今回策定する総合振興計画は3月議会での承認が必要となる。アイコンも、承認後において、今後10年間使用する形となるため、周知等を行っていかないと。</p>
委員	<p>益田市版SDGsのアイコンは、どのようなプロセスを経て作成したのか。</p>
事務局	<p>庁内でアイコンそれぞれのキーワードの意見を募り、その後コンサルと話をし、キーワードのイメージに沿ったイラストを作成した。</p>
委員	<p>アイコンにも意味があると思う。益田市版SDGsの⑧については、工場で働く人の印象を受ける。必ずしも2次産業に偏る必要はないかと思う。もう一度考えてもらった方がいい気がする。しかしながら、いろいろ言うときりがないため、ほどほどにしたいが、いくらか改定の余地はあると感じる。</p>
委員	<p>子どもたちは、国連のSDGsに親しみを覚え、イメージを膨らませていると思う。その中で、益田市版SDGsができると、混乱してしまう。小学5年生くらいになると、LINEで、SDGsについて意見交換をしている学校もある。それでも益田市のアイコンをつくるメリットがあるのかを教えてください。</p>
事務局	<p>国連SDGsは、発展途上国も含め範囲が広く、目標も大きすぎる場所があるため、益田市のレベルに置き換える必要があると考え、このように設定した。例えば⑥であれば、水辺の環境を守ろうということで、高津川をはじめとした自然環境など、身近なところをイメージしてもらえるところから始めるということである。 確かに国連SDGsというのは大前提にあるものの、まずは、もっと身近なところから始めていき、最終的には大きな国連の目標に向かっていく、という意図で設定している。</p>
委員	<p>例えば国連SDGsの6番であれば、アイコンは活かしながら、文章を益田市版SDGsにするものと解釈していた。水というロゴを見て子どもたちは想像を膨らませていくが、益田市版SDGsを見ると、川のイラストが描かれている。必ずしも川だけではないと思う。海や、プラスチックゴミの問題などもあるので、水というものを広く捉えて、創造力を膨らませることが重要だと思う。</p>
委員	<p>国連と益田市の両方に同じようなアイコンがあり、なぜ、このような形にならないといけないのか疑問に思った。益田市の主な取組やその目的というのは、文章で書かれているので、益田市版SDGsのアイコンがなくても益田市のやりたいことが伝わるのではないかと考えている。国連のSDGsのアイコンは、たとえば場所が変わっても、共通理解として受け入れられる。他市から来られたら、新たにどうしてあるのと、疑問を感じかねない。必要なのは言葉である。いろいろな学校で、想像力を働かせることを大きな目的として、広い視野で物事を考えていくことが一番大事であるということでSDGsに取り組んでいる。また、高齢者の方にはアイコンを置き換えること自体が難しいと思う。</p>
委員	<p>アイコンはなるべく市民に親しまれる形で作ればいいと思う。 いったん、総合振興計画全体についての話をしたい。</p>

委員	目次の基本施策と P21 の基本施策項目が合致していない。
事務局	基本計画の記載が正しい。突合がまだできてない。P28～P85 の内容が正しいものとしてご理解いただきたい。
委員	P90 の総合振興計画と総合戦略の関係図については、計画の流れから、総合戦略が上に来ないほうがいいのではないかと。基本計画の施策を取り出して下の総合戦略に施策を抽出するという方がいい。
事務局	修正する。
委員	目標指標が各施策にあるが、全て数えると 60 項目ある。総合戦略はこの中から目標指標も抜き出しているということか。
事務局	お見込みのとおりである。
委員	前回の総合振興計画で設定した指標が全て活かされているのか。
事務局	第 5 次計画においては、毎年の指標の検証ができていないのが実情である。今後は毎年、各課で検証・チェックを行うことができるよう、対応していきたい。
委員	総合戦略審議会で、総合戦略にも採用された重点的な目標はチェックをし、それ以外に採用されなかった目標については庁内でチェックをする、ということか。
事務局	外部委員会で議論いただくかまでは、まだ検討していないが、まずは庁内でチェックをする。
委員	承知した。
委員	P18 の図は、SDGs を囲っている枠に横断目標も含めるべきではないか。枠線が小さいため修正すべきと思う。
事務局	承知した。
委員	今日の会議は何を目標とすればよいか。
事務局	総合振興計画の構成と内容など概ねの流れについて承認をいただきたい。
委員	承知した。一通りの議論が終わった後、承認してよいかを問う。委員の皆様からなるべく多くのご意見をいただきたい。
委員	具体施策に対して、目標指標が全て対応していない。施策を管理する上で、全て対応したほうがいいのではないかと。
事務局	各課が把握し、検証しやすい目標指標を設定した。前回は指標が多く、数値を把握しにくいものもあった。今回は指標を絞り、より大事なものに厳選した。
委員	総合振興計画の目標指標は全部で 60、総合戦略の指標は 12 ある。すなわち、概ね 5 分の 1 の指標が総合戦略とリンクしているという認識でよろしいか。
事務局	後ほど説明するが、総合戦略アクションプランという冊子を別に作成する。12 の指標というのは、60 のうち大きな目標を抽出して、第 2 期総合戦略の数値目標として総合振興計画の第 3 章に示すものだ。
委員	承知した。
委員	確認だが、P89 「1 計画の概要」の「1-3 PDCA サイクルの検証」について、総合戦略審議会で毎年検証すると書かれているが、総合振興計画の検証はどのようになっているのか。
事務局	総合振興計画については、外部委員による審議会の場合等において毎年度施策の検証はしていない。策定が終われば、本審議会は解散となる。 総合戦略は、具体的に取り組んでいく事業としてアクションプランを作成し、目標数値である KPI をもとに毎年審議会で検証する。総合振興計画の目標指標は 60 ほどあり、そのうち、人口減少や子育てに関連する施策を抜き出したものが総

	合戦略となる。
委員	実施計画は毎年見直すことになるのか。
事務局	実施計画というのは、今回策定する総合振興計画とは別にあり、令和3年度からの3か年計画となる。現在のところ、総合振興計画に示す60の目標に関連する施策を実施計画として取りまとめることを考えている。そのため、実施計画は今回の総合振興計画を策定した後に作成する。福祉や教育など、各分野の事業をどう進めていくかを掲載する。
委員	益田市版SDGsは非常にわかりやすくなったと思う。国連のSDGsに合わせて益田の身近な目標もわかりやすく表現されており、アイコンもわかりやすくなった。
委員	P2の計画構成とP90が誤解を招きかねない。P90はあくまで総合振興計画と総合戦略との関係だけになっており、総合振興計画のなかの総合戦略に限定して書き分けているのはわかるが、全体を見たときに、これら2つの計画の関係性がどうだったかということになりかねず、計画が複数あるものとして混同されてしまう恐れがある。これまで議論をしてきた者であれば、P90の内容がわかるのだが、全体を見たときに誤解を招きかねない。
事務局	わかりづらいというのは、確かにある。見せ方を考えたいと思う。
委員	P2を見ると、基本構想があって、基本計画がある。その下に総合戦略の目標が12ほどあり、基本計画として各課でまとめられた目標が48ほどある。このイメージがしづらい。基本構想、基本計画があり、その下に大事な総合戦略があり、その下にそれ以外の48の目標があるといった区切り方ではだめか。
事務局	総合戦略は基本計画のうちに含まれていることを示している。つまり、基本計画のなかから重点的ものを抜き出したのが総合戦略となっている。 P2の表現ではわかりにくいという意見をいただいた。計画のイメージをする大事なところなので、見せ方を検討したい。
委員	同じところ(P2)について質問と訂正をお願いしたい。表題(4)の実施計画の文言について、「実施計画は、基本計画及び総合戦略で示した、基本計画で示した具体施策」とあり表現がおかしくなっているため、「基本計画で示した」を削除する。また、表題(1)から(4)までそれぞれの説明があるが、この文章それぞれに対して、これまでに出示された意見を入れ込む必要もあると思う。そうすることで、図と併せてより理解が深まると思う。 それと、P16の「(2) 益田市版SDGsとまちの将来像の達成に向けた考え方」というところについてだが、国連SDGsの考え方では3つに分類しているが、益田市版では4つに分けている。4つある資源のうちの1つである人的資源というのは、益田市版SDGsでは人的資源を基盤としたいということだと思うので、特別であることがもっと表れるといい。 次のページ(P17)でアイコンを分けて示している。P16でも4つの資源のところにアイコンを入れていくと、より資源の生かし方というのがわかっていくのではないかと考える。上手にアイコンを使って冊子ができあがればと思う。
委員	基本的な質問だが、この計画は役所を中心に進めていき、これを毎年チェックしていくものだと思うが、益田市版SDGsとして市民に呼び掛けるというのは、市の施策をわかりやすくPRするためにするのか、それとも生活につながるのか、そこがわからない。
事務局	具体的な事業については、実施計画で反映させる。 また、益田市版SDGsの設定は、市の施策が国連のSDGsとつながっていると意識していただくこともねらいである。SDGsの理念に沿って施策を合わせるというわけではない。益田市も国際社会の一員として、社会全体の目標に沿って行動していくという意味合いで、アイコンを設定している。
委員	SDGsを意味のあるものにするために、これから浸透させていくことも考えていく、ということでしょうか。
事務局	総合振興計画は、市民や各団体、行政にとっての10年間の指針であり、主体は市民だ。そのため、まずは市民に計画を知ってもらい、市民参画につなげたい。

	<p>また、行政と市民が一緒に協働して取り組んでいくためのものでもあるので、そのためのPRも必要と思う。</p>
委員	<p>各課に益田市版SDGsを貼り付け、達成目標を意識しながら業務を実施していく姿が浮かぶ。市民に対して、こういうことを達成しようとしているのだと広報しながら推進するべき。</p>
事務局	<p>理解してもらうことが大事と考えている。</p>
委員	<p>P18の、まちの将来像の文字が小さい。もっと大きく示した方がいい。P20基本目標Ⅳの基本施策の数字が、3が飛んでいるので直してほしい。P22の施策体系だが、P18との整合を考えた方がいいのではないかな。</p> <p>また、P28以降（基本計画）の目標値の根拠が気になる。例えばP32の先端技術を活用した持続可能なまちづくりの推進というところで、市内での新規事業「令和7年度末までに1件以上」という目標は弱気ではないか。また、P42の人権に関わる講演会の開催数は2回以上となっており、令和元年にはすでに2回の実績があるのに消極的だ。P46の目標は達成しやすいのではないかな。P50に地産地消比率とあるが、学校給食の残食が問題となっている。SDGsの理念とも関連するので検討してほしい。</p>
事務局	<p>P18の図は将来像、基本目標の説明をしている。将来像を実現するための基本目標の説明を図に表したものだ。</p> <p>P22とP23はA4版で作成しているが、A3版とする予定である。施策体系については、全体的な基本目標と基本施策がどのように関連しているのかの体系を表している。A4版でわかりづらいが、まず体系をわかりやすくするように考えている。あくまで基本目標の説明図ということでご理解いただきたい。</p> <p>また、各目標値については、各担当課で根拠を持った数字となっている。</p> <p>P32の先端技術について、IoTを活用した市内の道路パトロールなどの実証実験を進めているが、それらが具体的に事業化することを考慮した結果、令和7年度までに1件という目標とした。具体的な事業になるのはハードルが高いと思っている。</p> <p>P42の人権については、確かに2回分すでにクリアしている状況にはあるが、具体的な開催回数目標設定が難しいので、2回以上としている。</p> <p>P50の残食率については非常に重要な指標と認識した。この指標については担当課と調整をする。</p> <p>目標として、適切な設定であるかどうかという点と、こんな指標が必要であるという意見があれば、ご意見をいただきたい。あくまでも市民が主体であるため、市民に直接関係ある指標であるべきだと思っている。</p>
委員	<p>目標指標をどこで管理するのか、責任部署を入れておいた方がいいのではないかなと思う。</p>
事務局	<p>本編に掲載するか、資料編などに掲載するか、検討中である。</p>
委員	<p>委員の話聞き、国連SDGsの考え方が益田市に反映されたことに違和感があるのかなと自分が納得した。</p> <p>以前、市民・高校生にアンケートを取っているが、結果は高校生に返しているのか。</p>
事務局	<p>今後、結果をお返しする予定である。</p>
委員	<p>アンケートの結果については、結果を反映してこういう計画ができたという意識を持たせるためにも、計画と一緒に返してあげた方がいいと思う。</p>
委員	<p>基本計画の目標指標について、市民と行政共通の目標が大事と思う。どういう数字で定点観測していけば、その共通目標に近づくことになるかが分かる指標を載せていく考え方が必要である。そう考えたときに、P36は、出産子育て結婚も含めての支援のところにこの目標が掲載されているのが分からない。親子関係が逆転しているのではないかな。P98にも、同じような施策名で総合戦略の目標が掲載されているが、大きい目標だと思う。掲載するところは、それぞれここがいいのか。地域全体での目標、定点観測できる目標の親子関係の整理が必要と思う。</p> <p>計画全てを突合して読む人はいない。そのため、指標の関係が掲載されているものがあるといいと思う。ページの関係で難しいということであれば、定点観測するものは、別ページに掲載されているなど、最後まで誘っていくようにすると</p>

	<p>いい。</p> <p>また、デザインは今後整えると思うが、行間等はゆとりをもつと読み物として読みやすい。福岡市が、印刷物についてわかりやすく、読み物としてすっきりまとめられる方法などが記載されたものを出している。自治体向けのガイドラインとしてよくできている。それも参考にするといいと思う。</p>
事務局	<p>目標数値の見せ方は検討する。</p> <p>余白や行間は、印刷の段階で調整する。また、写真やグラフも加える予定だ。</p>
委員	<p>益田市版 SDGs もつぶれないよう配慮してもらえたらいいと思う。</p>
委員	<p>他自治体の計画を見たが、どこの自治体も方向性が同じなので似ている。主役は市民であるが、印刷した6次計画の冊子を見ると、また同じものを作っていると思われるのではないかと。市民に示す内容については、全計画でなくてもいいと思う。地方自治法では、総合振興計画作成義務が各自治体の独自性を尊重し削除された。益田市の場合条例でも定められていないので、策定の義務はない。益田市がやろうとしているのは何なのか、市民にわかりやすい形で示してほしい。世の中が変わろうとしている今、第5次総合振興計画とは違った形の計画にしてほしかったと思っている。</p> <p>市民に示すのは、基本構想の部分のみにするか、映像で見せてほしい。例えば、協働が進んだ社会はこんなイメージだとか、中世を感じさせるまちとはこんなものだ、というのが見えるといいと思う。</p>
委員	<p>構造を解説するのに時間がかかる。親切な報告書づくりを心掛け、市民に伝わるようにしてほしい。</p>
委員	<p>基本計画と総合戦略を1冊にするのはいいと思うが、関係性がわかりづらい。市民目線で見ると、伝わりにくく感じる。</p>
委員	<p>総人口や出生率などの一番大きい目標が、総合戦略には出てきて総合振興計画に出てこないことに違和感がある。</p>
委員	<p>益田市版 SDGs ②の地産地消について、例えば、子ども食堂に食材を提供しようと思って生ものを持って行っても受け取ってもらえない。どの人にも食料が行き渡るようにするということは、地産地消とイコールではない。食料が行き渡る仕組みづくりの方が必要だと思う。</p> <p>また、P17の資源の循環図はもう少し温かみのあるような表現にしてほしい。北海道下川町が参考になると思う。もっと工夫がいるのではないかと。</p>
委員	<p>今後は、今日いただいた意見をもとに、作り込みを事務局にお任せするといった流れになるのか。</p>
事務局	<p>これから、いただいた意見を反映する努力を行いたいと考えている。</p> <p>12月下旬からパブリックコメントを行い、修正したものを第5回審議会で議論いただく予定である。会議が終わってからでも構わないので、お気づきの点があれば12月2日までにお知らせいただきたい。</p> <p>今日の会議では、計画の概ねの構成と内容について、承認をいただきたい。</p>
委員	<p>本日各委員からいただいた意見を踏まえ、計画のバージョンアップを約束することで、承認してもよいか。</p>
(意見なし。承認)	
(1) 第6次益田市総合振興計画案について ④第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略アクションプラン (別冊) 【資料2】	
事務局から説明	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合振興計画第3章の総合戦略については、別冊としてアクションプランを作成し、具体的な事業と重要業績評価指標 (KPI) を管理する。</li> <li>・内容については、総合戦略審議会でも別に審議いただいている。</li> </ul>	
委員	<p>アクションプランには益田市版 SDGs が示されていない。</p>
事務局	<p>資料1、総合振興計画第3章の総合戦略の中で示している。</p>

委員	市民に分かってもらおうとするのなら、どんな小さい所でも貼り付けておくべきだと思う。 計画はもちろんだが、イベントの看板などにも使っていないと定着しない。
事務局	市民に知っていただくにはどんな方法がいいか、考えているところだ。 アクションプランへの掲載については、承知した。
委員	企業が作成するパンフレットなど、関連するものに入れてもらうなど、益田市として実施していかないといけないと思う。やるのであれば、4月の時点で一斉に益田市全体でやっていくべき。まちに溢れるくらいやれば効果は高いと思う。
委員	どこにでもアイコンが出てくる状況は必要だと思う。 また、総合振興計画第3章にも、具体的なことはアクションプランを参照する、ということを入れるなどして関連性を示すべきだ。
委員	構成を確認したい。資料1のP96 横断戦略の目標に総人口がある。これを達成するために、アクションプランの横断戦略のKPIが9つある、と考えてよいか。
事務局	お見込みのとおりである。アクションプランとの関連性もわかりやすく示したい。
委員	P3の中間支援組織やKPIなどという文言は馴染みがない人が多いため、用語解説が必要ではないか。 P8の観光推進の「施策の方向性」上から3つ目について、グラントワでは会議室がないため、MICE誘致は難しいと考えられる。 P18の二川小学校は、施策として細かすぎではないか。 また、ダイジェスト版は作成するのか。
事務局	グラントワでのMICE誘致は、過去に日本古文書学会を開催した実績があったので、掲載している。ご指摘のあったところはもう一度検討したい。 ダイジェスト版は市民向けの資料として作成する。
委員	アクションプランも承認が必要か。
事務局	総合戦略審議会で承認いただくこととしたい。
委員	P2の人材育成の事業について、事業内容としては、産業人材の育成なども含めて地元に残っている若い人も対象にしているのだと思うが、KPIは県外の若者に偏っている。「ひとつづくり」のプログラムに参加した益田市の大人側がどう変容したか、という点についても測ることはできないか。 P8については、観光でオンラインを導入するなど、従来の観光で測れないものを入れると目標達成が苦しくなるのではないかと思う。 P11には、「成婚率の向上」という文言があるが、結婚については個人の人権に関わることだと思う。自治体の計画に入れるのはいかがなものかと思うので、検討いただきたい。 P18では、小さな拠点づくりに取り組む地区数を目標にしているが、地域自治組織の立ち上げに関しては、地元といろいろな議論があったはずだ。それを考えたとき、この目標を掲げる意味は何か、再度検討いただきたいと思う。 KPIは「ものさし」だ。ものさしを当てて測りたいものが何かということが見えてこない、計画を読むときに腑に落ちないと感じる。
委員	益田市版SDGsについて、今の段階では国連SDGsの方が見やすい。基本的にはカラーだと思うが、周知するためには、広報に掲載するのだと思う。広報は3色刷りで、字も色もつぶれてしまう。実際に印刷すると、これよりもっと小さく押しつぶしたような字になるし、見づらい。そのため、大きな字の見やすいフォントを使うなどの工夫が必要だ。
事務局	アイコンの文字は大きくする。本計画書はカラーで印刷するが、広報などの印刷にも耐えられるよう、白黒バージョンのアイコンも作成する予定だ。
委員	P2のKPIについては、他の委員と同じ考えだ。UIターンの方を優先されていると感じる。社会教育課がやっている、職場体験、明誠高校での取組、キャリアサポートなどをもっと違う方向に広めていくとか、もっと人数を増やしていくなどを書かれた方がいいのではないか。 それと、P18のKPIに関して、地域自治組織イコール小さな拠点ではないと思う。それを踏まえ、P3のところについて修正いただきたい。

事務局	担当課と調整させていただく。
委員	横断戦略と基本戦略の大きさが一緒である。横断戦略を強調した方がいいのではないかと思う。検討してほしい。
事務局	レベル感の違いを表現できるよう検討する。
委員	横断という言葉を他の表現にできないものか。
事務局	国の総合戦略にも横断戦略がある。これと対応した形で作っている。
委員	他の基本戦略と同じ表現をしているので、四角で囲むなどした方がいいと思う。
事務局	資料1の議論に戻りたい。 基本構想については、概ね了承いただいたところだが、P13~15の益田市版SDGsについては、アイコンが不要という意見もあった。改めて、アイコンを使用してよいかどうか、皆様に可否を聞きたい。
委員	益田市版SDGsを設定した想いについて、今一度教えていただきたい。
事務局	国連SDGsは17のゴールの下に、169のターゲットがある。しかし、これをいきなり市民に周知しようとしても伝わらないところがあると思う。例えば5番のアイコンを見ても、これが何を意味するアイコンなのかとなる。市長も国連の17のSDGsをすべての施策で意識すると言っており、それを益田市の地域課題に落としこんで、まずは身近なところからSDGsに触れていってもらいたいという想いがある。 また、SDGsの指標を使うことで、他の地域や国と比較ができる。そのため、まずは広く市民に知ってもらうために、地域の課題を益田市版SDGsに置き換え、将来的には、国連が目指しているところに到達していくのだ、という意識付けをしたいと考えている。
委員	国連のたくさんあるターゲットの中から、益田市に合うものを考えて益田市版を設定したということだと思う。是非、文章にその想いを落とし込んでほしい。現状の説明だと、国連の「貧困をなくそう」は益田市版だと「地域共生社会を実現する」しかないというように見える。しかし、国連のSDGsには細かいターゲットがたくさんあって、その中で地域共生社会に関するものを益田市ではやるのだ、と理解した。ただ単に1つのことだけをやるのではない、という点を説明する文章がもう少し書いてあると、納得ができる。
事務局	P12において、国連SDGsのゴールの説明を示している。
委員	これは国際社会における国連SDGsの説明だ。P13は益田市がSDGsを設定した理由を示すところなので、あえて再掲して説明した方が納得いくと思う。
事務局	承知した。
委員	益田市版SDGsを使用することについて、賛否を聞きたい。
(賛成12名、反対3名。賛成多数として、承認を得られたと判断。)	
委員	いろんな自治体がSDGsを標榜しながら実施していくと思うが、窮屈に見える。国連SDGsを使うための議論をするのはどうかと思うが、これが社会のために生きればと思う。まずは、使ってみることが大事だ。
事務局	デザイン会社において細かい修正はさせていただくが、基本はこのデザインをベースとしたい。
委員	世の中のアイコンというのは、よくできている。現状の益田市版SDGsは、要素がたくさん入っているので、もう少しシンプルにそぎ落としていく必要があると思う。イラストの大きさを統一するなどして、汎用性のあるものにしていただきたい。 今後の展開をしていくのであれば、すごく大事な作業であり、時間がないかも

	しれないが、今後10年のことも考えて、デザインを仕上げてもらいたい。
委員	⑩の天秤のイラストは、子どもたちに分かるだろうかと思う。もっとわかりやすくしてほしい。
委員	⑩は、不平等をなくすという文言では否定の否定になる。平等という言葉でいいのではないか。 ⑦の切り株のイラストは、自然破壊とも取られかねない。アイコンによっては勘違いをされる可能性もあるので、注意して作成いただきたい。
(2) 今後のスケジュールについて【資料3】	
事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいた意見をもとに修正した内容は、郵送にてお示しする。</li> <li>・今後は、12月下旬から1月中旬にパブリックコメントを行う。次回審議会は1月下旬を予定しており、パブリックコメント後の調整事項等について確認・審議をいただくことになる。</li> </ul>	
(3) その他	
特になし	
3 閉 会	